

# 第 101 回国際大会報告書

(米国ネバダ州・ラスベガス 2018 年 6 月 29 日－7 月 3 日)

## I. 国際役員を選出

7 月 1-3 日に MGM グランド カンファレンスセンターで行われた投票で、本年度国際役員が別紙 1 の通り選出されました。

国際会長には、アイスランドの Gudrun Bjort Yngvadottir 元国際第一副会長、国際第一副会長には韓国の Jung-Yeol Choi 元国際第二副会長、国際第二副会長には、米国ジョージア州の Haynes H. Townsend 国際第三副会長、国際第三副会長には、米国ミネソタ州の Brian E. Sheehan 元国際理事が選ばれました。東洋東南アジア地域からの国際理事として、日本から安澤 莊一元地区ガバナー (332-D 地区・白河小峰 LC)、韓国から Jongseok Kim 元協議会議長、台湾から Liao-Chuan Huang 元地区ガバナーが選出されました。

## II. 2018-2019 年度国際理事会委員会

日本からの国際役員の所属委員会は次の通り。

|            |            |
|------------|------------|
| 佐藤 義雄 国際理事 | 大会委員会 副委員長 |
| 安澤 莊一 国際理事 | 大会委員会      |

## III. LCIF 国際役員

|               |   |
|---------------|---|
| 山田 實紘 元国際会長   | LCI・LCIF 理事会アポインティ・ LCIF 理事会開発委員長、LCIF キャンペーン 100 国際委員長 |
| 栢森 新治 元国際理事   | LCIF 理事・LCIF 執行委員会 会計兼財務委員長                             |
| 鈴木 誓男 元地区ガバナー | LCIF 理事・プログラム委員会委員                                      |

## IV. 国際会則の改正

7 月 1-3 日に MGM グランド カンファレンスセンターで行われた投票により、上程された改正案はすべて可決されました。(別紙 2)

## V. 新国際会長の就任

閉会式でグッドラン・イングバドダー新国際会長の就任セレモニーが行われました。新国際会長の略歴は別紙 3 の通りです。カラー顔写真は国際協会 HP (日本語版) からダウンロードしてください。

国際会長【写真】ダウンロード先:

[http://www.lionsclubs.org/cs-assets/files/images/page-images/presidents/yngvadottir\\_big.jpg](http://www.lionsclubs.org/cs-assets/files/images/page-images/presidents/yngvadottir_big.jpg)

引き続き国際テーマは『ウィ・サーブ』、詳しくは次の国際協会ウェブサイト(日本語版)U

RLからダウンロードしてください。

資料ダウンロード先:

<http://www.lionsclubs.org/resources/JA/pdfs/yngvadottir-presidents-theme.pdf>

ビデオ掲載先:

<http://www.lionsclubs.org/EN/who-we-are/our-leaders/president-vice-presidents.php#>

## VI. 国際コンテスト

国際大会の際に行われたコンテスト及びインターナショナルパレードについて日本からの入賞はありませんでした。

## VII. 表彰

### (1). ライオンズ人道主義大賞 (Humanitarian Award)

閉会式で、アポロ病院の創設者であるプラサップ・C.レディ博士が受賞しました。同病院はインド最大規模の病院グループとしてメディカル・ツーリズムや高度先進医療を実施、海外での医療や女性の地位向上にも取り組んでいます。授賞式にはご本人のビデオメッセージが発表され、アショク・バジパイ同病院事務総長が代理出席され、今後の支援に25万ドルが贈呈されました。プラサップ・C.レディ博士については以下のURLをご参照ください。

プラサップ・C.レディ博士(アポロ病院)

<https://www.apollohospitals.com/corporate/apollo-management/chairman-profile>

### (2). LCIF (LCIF日本事務所資料提供)

① 7月2日の2日目総会にて、334-A地区のLCIF献金が年間100万ドルに達したということについて野村善弘 334-A地区地区ガバナーが壇上で表彰されました。

② 7月2日に行われたMJF 昼食会にて次の通りの表彰がありました。

#### ☆ リードギフト (誓約者)

- L. 山田 實紘 (334-B地区・美濃加茂LC)
- L. 中村 泰久 (330-C地区・大宮北LC)
- L. 栢森 新治 (334-A地区・名古屋ウエストLC)
- L. 鈴木 誓男 (334-A地区・豊田ルネッサンスLC)
- L. 山浦 晟暉 (330-A地区・東京新宿LC)
- L. 不老 安正 (337-A地区・大宰府LC)
- L. 吉村 千鶴子 (337-D地区・鹿児島さつまLC)
- L. 榎本 舜治 (334-A地区・美浜LC)
- L. 林田 俊一 (337-A地区・穂波LC)

- L. 小高 左起子(333-C地区・房総勝浦LC)
- L. 中嶋 正昭(333-E地区・日立LC)
- L. 加藤 助太郎(334-A 地区・豊田ルネッサンスLC)
- L. 北野 憲太郎(334-D地区・福井中央LC)
- L. 小野寺 眞悟(331-A地区・札幌北の杜LC)
- L. 川島 正行(333-E地区・土浦北LC)
- L. 大高 宣靖(333-E地区・水戸LC)
- L. 櫻井 貴裕(330-B地区・藤沢LC)
- L. 伊賀 保夫(330-A地区・東京ピースLC)

☆ メジャーギフト (誓約者)

- L. 曾山 純廣(337-D地区・国分隼人LC)
- L. 夏 有民(335-B地区・大阪天王寺LC)
- L. 北畑 英樹(335-B地区・八尾菊花LC)
- L. 大石 誠(330-A地区・東京数寄屋橋LC)
- L. 松岡 勲 (335-C地区・京都サウスLC)
- L. 齋藤 利明(334-A地区・美浜LC)
- L. 山新田 友明 (337-C地区・諫早中央LC)
- L. 矢野 進(337-A地区・大牟田中央 LC)
- L. 有野 勇(335-D 地区・三木中央 LC)

☆ 日本の新たな 100%MJF クラブ

- 千歳 LC(331-A地区)
- 大阪帝陵 LC(335-B 地区)
- 大阪サウス LC(335-B 地区)

☆ 日本の新たな 300%MJF クラブ

- 京都イースト LC(335-C 地区)
- 名古屋MJF LC(334-A地区)

☆ Humanitarian Partner (Gold Diamond)

- L. 溝渕 義雄(336-A地区・高知南LC)

☆ Humanitarian Partner (Gold Blue Sapphire)

- L. 鈴木 誓男 (334-A 地区・豊田ルネッサンスLC)

☆ Humanitarian Partner (Gold Amethyst)

- L. 栢森 新治 (334-A 地区・名古屋ウエストLC)

☆ Humanitarian Partner (Silver Diamond)

- L. 小野寺 眞悟 (331-A 地区・札幌北の杜 LC)
- L. 不老 安正(337-A地区・太宰府 LC)

☆ Humanitarian Partner (Silver Amethyst)

L. 山田 實紘(334-B地区・美濃加茂LC)

☆ Humanitarian Partner (Bronze Diamond)

L. 松岡 勲 (335-C地区・京都サウスLC)

☆ Humanitarian Partner (Bronze Ruby)

L. 榎本 舜治 (334-A 地区・美浜 LC)

L. 北野 憲太郎 (334-D 地区・福井中央 LC)

☆Humanitarian Partner (Bronze Blue Sapphire) -

L. 加藤 助太郎(334-A地区・豊田ルネッサンスLC)

L. 有野 勇 (335-D 地区・三木中央 LC)

L. 迫 幸治(337-D地区・首里キャッスル LC)

☆ Humanitarian Partner (Bronze Amethyst)

L. 山新田 友明 (337-C地区・諫早中央LC)

- ③ 7月3日に行われた閉会式にてLCIFキャンペーン100委員長である山田實紘元国際会長から、壇上で前述リードギフト誓約者が紹介され、世界のメンバーへ年間1人100ドルの献金協力が呼びかけられました。

### (3). 国際平和ポスター・コンテスト

2017-2018 年度国際平和ポスター・コンテスト大賞は、ZhuoQi・Wang さん(Dalian Heping Huihua LC スポンサー・中国)、日本から森 <sup>もり</sup> 優雅さん(北九州八幡 LC スポンサー・337-A 地区)と Karin Nogawa<sup>のがわ</sup>野川 <sup>かりん</sup> 佳鈴さん(取手 LC スポンサー・333-E 地区)、須田 <sup>すだ</sup> 千尋<sup>ちひろ</sup>さん(秋田仙北 LC スポンサー・332-F 地区)が優秀賞を受賞しました。

### (4). 国際作文コンテスト

視覚障がいのある青少年を対象とした2017-2018年度国際作文コンテスト大賞は、Ely Potter さん(Delaware LC スポンサー・米国オハイオ州)が受賞しました。

## VIII. 初日総会(7月1日)

基調講演として、エミー賞を複数回受賞、CNNの医療ニュース特派員で脳神経外科医のサンジェイ・グプタ医師から、スピーチがありました。同氏は医学及び公衆衛生政策についての豊富な経験に基づいた戦場や自然災害現場の報道で知られ、また肥満対策番組「Fit Nation」では米国内に健康的で活動的な生活を呼びかけています。講演では、糖尿病について予防対策、認識向上の重要性を訴えました。

## IX. 二日目総会(7月2日)

基調講演として、アメリカ合衆国元大統領であり、ジョージ W. ブッシュ大統領センター

設立者であるジョージ・ブッシュ氏から、スピーチがありました。

## X. 参加代議員及び補欠数(7月3日閉会式発表)

7月3日閉会式時点の発表では、全世界からの投票代議員数は4,319名でした。日本からの代議員数は449名でした。※ 秋季国際理事会にて公式に発表される予定です。

※中村元国際理事から、国際大会後にご発表がありました。

## XI. ラスベガス国際大会の大会登録者数

全世界からの登録数は15,268名、日本からの登録数は1,816名でした。※

公式な登録数は例年秋季国際理事会にて発表される予定です。また、日本からのパレード参加者数は1,200名前後とのことです。

※中村元国際理事から、国際大会後にご発表がありました。

## XII. 各種セミナー

今大会では日本語通訳のあるセミナーが多く、日本から多くの参加がありました。

### (1) ビジネスセッション(6月30日)

各国際理事候補者の紹介があり、各理事候補者及び推薦者1名が登壇、スピーチを行いました。議事規則委員会からの報告や指名委員会からの予備報告、会則及び付則委員会からの報告がありました。

### (2) ニューヴォイス…女性イニシアチブ (7月1日)

新国際会長のもと、女性、若者など新しい意見に耳を傾け、男女差の解消や会員増強への前向きな取り組みが呼びかけられ、活発な質疑応答がありました。

### (3) LCIF キャンペーン 100 セミナー (7月1日)

キャンペーン委員長の山田元国際会長から、全世界のメンバーの協力をお願いされました。キャンペーン委員会について、3年間で3億ドル、世界の会員が年間で1人100ドルの献金目標や、糖尿病を含む主要用途、ツールのウェブ参照先などの説明がありました。

### (4) OSEALライオンズ・セミナー(7月1日)

詳細案内が直前となりましたが、特に日本からの参加者が多く、従来にないクイズ形式で活発なセミナーが行われました。

### (5) グローバルアクションチーム: 情熱を行動に変えよう (7月2日)

GAT国際レベル委員長および副委員から、GLT, GMT, GSTチーム同士の情報共有及び連携の相乗効果により様々なクラブ支援を行い、クラブ会員の満足度を上げ、会員維持から、ライオンズ全体の幸福度を高めることが呼びかけられました。

### (6) グローバルアクションチーム: クラブを成功に導こう (7月2日)

GATのGLT, GMT, GSTチームへニューヴォイス(女性や若者の新たな意見)を取り入れ、また、オンラインセミナー等デジタルテクノロジーを活用することにより、地域のニーズに合った奉仕が可能との説明がありました。

### (7) グローバルアクションチーム: 成功のためのツール (7月2日)

奉仕実施のための計画のステップやツールについて説明がありました。

### **XIII. 今後の国際大会の日程と開催地**

- 〈第 102 回〉 2019 年 7 月 5 日～9 日 イタリア・ミラノ
- 〈第 103 回〉 2020 年 6 月 26～30 日 シンガポール
- 〈第 104 回〉 2021 年 6 月 25～29 日 カナダ・ケベック州モンリオール
- 〈第 105 回〉 2022 年 7 月 1～5 日 インド・ニューデリー
- 〈第 106 回〉 2023 年 7 月 7～11 日 米国マサチューセッツ州・ボストン
- 〈第 107 回〉 2024 年 6 月 21～25 日 オーストラリア・メルボルン
- 〈第 108 回〉 2025 年 7 月 4～8 日 メキシコ・メキシコシティ

2018 年 7 月 23 日  
一般社団法人 日本ライオンズ

## 2018 国際大会選出役員

|  |  |
|--|--|
| 国際会長   | グッドラン ビョート イングバドター<br>Gudrun Bjort Yngvadottir (アイスランド)  |
| 国際第一副会長  | ジュン ヨル チョイ<br>Jung-Yeol Choi (韓国) [崔 重烈]   |
| 国際第二副会長  | ヘインズ タウンゼンド<br>Haynes H. Townsend (米国・ジョージア州)  |
| 国際第三副会長  | ブライアン シーハン<br>Brian E. Sheehan (米国・ミネソタ州)  |
| 国 際 理 事  |  |
| インド、南アジア、アフリカおよび中東<br>(4名改選)                             | Muhammad Adrees (パキスタン)<br>Qazi Akram Uddin Ahmed (バングラデシュ)<br>Dr. Nawal Jugalkishor Malu (インド)<br>J P Singh (インド)                                   |
| オーストラリア、ニュージーランド、パプ<br>ア・ニューギニア、インドネシア及び南<br>太平洋諸島(1名改選) | Juswan Tjoe (インドネシア)   |
| ヨーロッパ(3名改選)  | Geoffrey Leeder (イギリス)<br>Heimo Potinkara (フィンランド)<br>Dr. Walter Zemrosser (オーストリア)  |
| 東洋東南アジア(3名改選)  | Shoichi Anzawa [安澤 莊一] (日本)<br>Jongseok Kim (韓国)<br>Liao-Chuan Huang (台湾)  |
| 南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ<br>およびカリブ海諸島(1名改選)                     | Rodolfo Espinal (ドミニカ)   |
| アメリカ合衆国およびその領域、<br>バーミューダおよびバハマ<br>(5名改選)                | Billy J. Blankenship(米国・テネシー州)<br>Gary F. Brown(米国・ニューヨーク州)<br>Mark S. Lyon(米国・コネティカット州)<br>Steve Thornton (米国・オハイオ州)<br>A. Geoffrey Wade (米国・フロリダ州) |



公式通達

2018年国際大会 米国ネバダ州ラスベガス

以下の国際会則及び付則改正案が  
2018年国際大会において提出され、代議員が票決します。  
すべての付則改正案の可決には過半数の賛成票が必要です

第1項: 「準地区」と記述されるべきところが「複  
合地区」となっている記述を正す事務処  
理的な改正案。

下記の改正案を承認すべきか?

国際付則第10条第2項(a)を、2文目の  
「単一地区又は」に続く「複合」を削除  
し、「準」に置き換えて改める。

可決

第3項: 国際会則の最近の改正に整合させるため、  
理事会構成員の同時就任に関する規定を  
改める事務处理的な改正案。

下記の改正案を承認すべきか?

国際付則第2条第5項(b)を、1文目の「理  
事会構成員」を削除し、「国際理事」に  
置き換えて改める。

可決

第2項: 国際付則の最近の改正に整合させるため、  
長期計画委員会の構成内容を修正する事  
務处理的な改正案。

下記の改正案を承認すべきか?

国際付則第4条第1項を、1文目の「7」  
を削除し、「8」に置き換えて改める。

可決

第4項: 国際理事会の常設委員会にテクノロジー  
委員会を加える改正案。

下記の改正案を承認すべきか?

国際付則第4条第1項に新しい項目(k)と  
して「テクノロジー」を加え、残りの項  
番を繰り下げて改める。

可決



グドラン・イングバドター  
国際会長

グドラン・イングバドター（アイスランド・ガルザバイル）は、2018年6月29日から7月3日にかけて米国ネバダ州ラスベガスで開催された第101回国際大会で、ライオンズクラブ国際協会の会長に選出された。

イングバドター国際会長は、研究、教育、マネジメントに携わる生物医学者。1990年以来アイスランド大学生涯学習研究所で副所長を務める。

1992年にガルザバイヤル・エイク・ライオンズクラブに入会して以来、地区ガバナーや協議会議長など、国際協会の様々な役職を歴任。子供や青少年への奉仕や、会員増強、リーダーシップ育成、視力や糖尿病などの健康・福祉、環境保全事業、ライオンズクラブ国際財団（LCIF）などに力を注いできた。

イングバドター会長は、2010～2012年に国際理事としてリーダーシップ委員会（2年目は委員長）、2011～2013年には女性タスクフォース、2012～2013年度には理事会アポイントメントとして地区及びクラブ・サービス委員会、そして2013～2014年度にはLCIF管理運営検討アドホック委員会のメンバーを務めている。

その貢献が認められ、アイスランドライオンズにとって最高の荣誉であるキアランズ・メダル、ノルウェーライオンズにとっての最高位の賞であるライオンズ・クリスタルをはじめ、会員増強やエクステンション関連賞多数、国際会長賞11回、そしてライオンズクラブ国際協会最高位となる親善大使賞を受賞。累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

ライオンズでの活動に加え、アイスランド生物医学者協会をはじめとする多数の職業団体や地域団体においても活躍しており、同協会の代表としてスカンジナビアとヨーロッパの科学者の協力を促している。

元国際理事で累進メルビン・ジョーンズ・フェローの夫、ヨン・ビャルニ・ソルステインソンとのあいだには、息子1人と娘1人、そして6人の孫がいる。